

TOPに聞く

秋山建設株式会社／美祢支部

建設業が地域活性化の架け橋になるように

秋山 智洋

Tomohiro Akiyama
秋山建設株式会社
代表取締役社長



美祢市に本社を置く秋山建設株式会社は地元を大切にし、建設業の新たな展開を模索しています。山口県を代表する温泉郷のひとつ長門湯本温泉にある、老舗旅館「山村別館」の経営に取り組み、建設業と異業種との協働による新しい地域活性化を進められている同社の秋山智洋社長にお話を伺いました。

秋山建設株式会社
会社概要

創業 大正13年
代表者 代表取締役社長 秋山智洋
従業員数 49名
営業内容 土木工事、建築工事
とび・土工工事、鋼構造物工事
舗装工事、しゅんせつ工事
塗装工事、防水工事
内装仕上げ工事、造園工事



■お客様に愛される宿を
目指して試行錯誤

秋山社長が、妹さんご夫婦から引き継いで「山村別館」の旅館経営に取り組みられたのは3年前。「お客様と接することで次へと繋がりが発展していくという点では、サービス業から学び、建設業で活かせるものがあります。基本は同じですね。」と秋山社長。

今までの建設業にサービスを加えることにより、質の高いものを提供できるメリットが生まれました。2007年にリニューアルオープンし、洋風なつくりのおしゃれなデザインがお客様の目を引き話題になっている露天風呂は、社長自らが施工を手掛けています。またサービス面では食事にも気を遣っています。今までは安く手に入る他県産の食材などを使っていたところを県産・地産の食材を使うようにした結果、料理の評価も上がっていききました。

秋山社長は、「湯本温泉の街並みや環境づ



洋風なつくりの露天風呂

くりを温泉組合が提案し、地元の建設会社と協働して整えていかなければいけないと思います。建設業だけでなく観光業・農林水産業なども一緒になって取り組んでいくことがこれからは大切です。」と話されていました。現在、街おこしになればと地元にある萩焼深川窯とのタイアップや、湯本温泉街周辺の散策コースの提案など、様々なアイデアを形にするべく動いているそうです。

■これからの建設業に
求められるいくものとは

今後について秋山社長は、既存の建設業に加え、今までに無かった取り組みができるよう、時代にあった建設業を目指していきたい

とおっしゃいます。「私たちの基本はやはり建設業ですし、建設業に対しての誇りを持って仕事をしています。しかし、それだけでは厳しいのも現実。その中で建設業が生き残るには、異業種とコラボレーションすることで建設業に新たな取り組みを生み出し、地元とともに活性化させることが大切になってきます。そして、地方において建設業が担う社会資本整備という観点からも、地方を支えていくことになるものと考えています。」

山村別館だけでなく湯本温泉全体を盛り上げていきたいという秋山社長の思いと、未来に向かう秋山建設株式会社のこれからの取り組みが期待されます。



山村別館